



関西・関東・甲信越地方からお招きしてのモニターツアーを開催しました。

八朔浪漫について語りたくなる
ような方を増やし、”単なる果物
として”の位置づけから、”物語の
果物として”の位置づけへと、多く
の方が、語り部としての要素をた
くましく情報収集できるよう、また
時にプレゼンテーションするため
の、情報提供となるようにコンテ
ンツの公開を進めていきます。こ
うして史料整理と、それを活用し
たアーカイブス事業を展開
しています。

A group of people are gathered on a stone-paved path next to a steep hillside. A man in a green shirt and blue jeans is operating a professional video camera, filming a woman in a light blue dress and a pink jacket. Other individuals are standing nearby, some wearing hats. The hillside behind them is covered in dense green vegetation and white flowers, possibly azaleas or cherry blossoms, growing on large rocks and boulders.

八朔とゆかりのある除虫菊も花盛りでした。偶然、テレビ局の方たちとお会いして、インフルエンサーの方たちが急遽取材を受けられるというハプニングもありました。

「八朔ゆかりの会」の田中会長は
言います。「八朔には歴史浪漫があ
るはず」。その浪漫を語れるコンテ
ンツを整え、知る楽しみ、八朔そ
して柑橘産業の発展に寄与でき
るようにと意識を強く確認しあ
い、二〇一三年五月二十六日【八
朔ゆかりの会 第一回通常総会】
は閉会いたしました。

四〇〇頁となり、今年度も継続し
収集とアーカイブに努めること
を方針発表し、尾道ユネスコ協会
とも連携。体験型の【因島・八朔ノ
花ノ香狩リ】と称し、各団体・中学
生・高校生・一般のモニターツアー
を企画しています。

それぞれに宿泊先を確認予約し、それぞれのSNSで、島が香りに包まれると、告知をしていました。

【八朔巡礼物語り】

しりょうへんさん
「史料編纂」と「アーカイブス」について。

A photograph showing a large, segmented pomelo fruit on the left, a small whole orange in the center, and a half-sliced orange on the right, all against a white background.

尾道市文化財保護委員
尾道マネジメント協会事務局長

写真家 村上宏治

“八朔ゆかりの会”の田中会長は言います。「八朔には歴史浪漫があるはず。」八朔ゆかりの会発足一年を迎えるその使命を振り返る。

二〇二三年五月二十六日【八朔
ゆかりの会・第二回通常総会】が、
因島田熊の密厳・淨土寺にて開催
されました。会の発足から一年間を
振り返り、収支決算報告と、会の
活動報告が行われました。八朔
ゆかりの会の普遍的基本理念は、
八朔の更なるブランド化と、生産
者の育成と保護としており、活動
としては”史料編纂”と”歴史アーカイブス”を再認識し具体的に着手
の報告をしました。田中会長が強
い理念としています「八朔には歴
史浪漫があるはず」を旗艦として、
次年度に向けての活動計画が発
表されました。

特に可視化できます事業とし
ては、”史料編纂”と、”歴史アーカイブス事業”があります。”史料編
纂”とは、八朔を語るに必要な、過去
から現在における書籍、数値、画

一週間の出来事……そんな場所があるのです。

集まつた男性二人、女性四人は因島のエリアに入ると、それぞれにその香りの凄さに驚嘆の声。初めて見る八朔の花たちに、一行は更にヒートアップし、密厳淨土寺に安置されています、八朔の原本へといざない、その時点から歴史ストーリーに入ります。その後、一行を花たちが咲き乱れる畠へとそして生産者との会話と続き、畠で自ら絞る生ジュースのその味に驚嘆。その一行は一日を過ごし畠路に着く頃には、通常それぞれのショップにて購入する、低価格いくらの柑橘に対するイメージから物語の付加価値を感じての、高価格評価へと移行していきます。インフルエンサーである一行は異口同音、秋には訪れますと言い、そ

「因島・八朔ノ花ノ香狩リ」と称して広島市内・関西・関東甲信越方面からのモニターツアーを開催。

